

チーム身延中

令和6年度 身延中 学校だより
発行者:校長 渡邊 史

NO.4 令和6年7月23日

4月の入学・進級から約4ヵ月が過ぎ、今日で1学期が終わります。今年度は新校舎でのスタートとなり、例年のやり方が通じない少し不安な毎日となりましたが、新しいことを創り上げる喜びを感じつつ、何事にも一生懸命頑張る、成長が実感できる1学期だったと思います。

1学期は一年の始まりであり、各学年・個人の基礎を固める大切な時期でした。特に学習に関して、その要である毎日の授業や家庭学習に着実に取り組めたでしょうか。そして、各学年の目標に向けて見通しをもったスタートが切れたでしょうか。本日渡される通信表をよく見て、自分の学習の達成状況を確認してもらいたいです。そして必要があれば、担任の先生・教科担当の先生に質問をしてください。自分を知ることこそが成長の第一歩です。何ができて何ができていないのか、それを知ることこそが成長につながると思います。そして次に、長い夏休みをどう過ごすかが、2学期の成長を大きく左右します。もちろん学習以外の様々なことにもチャレンジしてほしいですが、まずは各教科から出される課題を中心に学習に取り組み、さらに自主的に1学期の復習や2学期の予習などを計画的に進め、実力を身につけてほしいと思います。

「ありがたい」を忘れずに

新校舎での生活も4ヶ月が過ぎ、この校舎での生活も「当たり前」になってきていると感じます。今ではきれいな教室も、落ち着く木の香りも、雨に濡れずに体育館に移動するのも当たり前となりました。でも、初めて身延中を訪れる方の驚きの声に接する度に、これを「当たり前」にしてはいけないなと感じたり、旧校舎での生活を思い起こす度に、改めて感謝の気持ちが蘇って来たりします。

「当たり前」の反対は「ありがたい」だと言われます。「ありがたい」は漢字で「有る（存在する）ことが難しい」と書きます。日常生活ではあまりないこと、希少なことという意味です。だから、そういうことがあったり起きたりすると、もったいないとか恐れ多いと感じ、そのようなことに対して「ありがたい」と思い、自然と「ありがとうございます」という言葉が出るのだと思います。では「ありがたい」の反対、「当たり前」なことにはどのような態度を取っているでしょうか。多分、多くの人が当たり前のことに対しては「ありがたい」とは思わないし、「ありがとうございます」とも言わないでしょう。それが少しも珍しくもないし、特別なことではないからです。

でもすぐに気がつくと思います。私たちが当たり前と思っていることは、実は一つも当たり前のことではありません。そもそもこの宇宙に、人間が生きるのに必要な空気がある星「地球」があることは奇跡に近いことですし、こうしてこの仲間と一緒に生活していることも本当に偶然なことです。この校舎で勉強や部活動をするのも決して当たり前のことではなく、特別なこと・素晴らしいことだと思います。ただ、少しだけ慣れてしまったり（時には慣れることも必要だけど…）毎日の慌ただしい生活の中で、その奇跡的なことや「ありがたさ」を忘れてしまうのだと思います。

1学期が終わり、夏休みが始まります。少しだけ毎日の慌ただしさから開放されると思いますので、4月からの「当たり前」ではない生活を振り返り、その「ありがたさ」について考えてみてください。「当たり前は当たり前ではない」と考え、感謝する気持ち



【町議会学校訪問】



【教育委員会学校訪問】



【全校スポーツテスト】



【2年柔道の授業】

を心のどこかに留めておいてください。当たり前のことに感謝すればするほど、それは皆さん自分自身を、そして相手を、仲間を大事にすることにも繋がると思います。すでに輝桜祭の取り組みが始まっています。夏休み・2学期以降も、この校舎で生活できることに感謝しつつ、生徒会のスローガンである「新響」に向けて、みなさんの思いをこの校舎に響かせていって欲しいと思います。

何のために学ぶの？ 6月22日(土)には、授業参観・講演会・学級懇談会を行い、120名以上の保護者の皆様にご参加いただきありがとうございました。

講演会は PTA 教養部主催で行っていただき、今年度は「学力向上キャラバン」として、山梨県教育委員会の藤原聡先生から、「多様化する進路選択」「これからの社会で求められる力について理解し、これからの学習につなげよう」のテーマでお話をいただきました。「何のために学ぶのか」と問われると、なかなか答えられないと思います。それには正解はなく、人によっても時代によっても違います。でも大切なことは少し先の将来を見据え、「あなたがどう生きたいか」を考えることだそうです。また、変化が激しい時代を生きるためには色々な力が求められ、例えば「前に踏み出す力 (Action)」「考え抜く力 (Thinking)」「チームで働く力 (Teamwork)」などがありました。今皆さんにできることは、「自ら学ぶ力」を伸ばすための学習方法の一つである「自主学習」の質を向上させることです。そのための方法をいくつか教えていただきましたが、その中の一つ「モチベーションを上げよう」については、すぐに色々な工夫ができると感じました。夏休みは「自主学習」の方法を見直したり、家族で話あったりし、自ら学ぶ力を向上させてもらいたいと思います。



SNS の使い方に注意! 6月25日(火)には、南部警察署刑事生活安全課の望月貞さん、大芝光貴さん、スクールサポーターの小泉公司さんにお越しいただき、1・3年生が「身近に潜むネット社会の危険性」についてお話をいただきました。上記の自主学習の質の向上のために「一人一台端末の活用」もあげられていましたが、今や私たちの生活・学習の充実にはネット利活用が不可欠です。ネットからはたくさんの情報が得られるし、私たちの生活を便利にしたり、人との広い繋がりを可能にしてくれたりするものです。しかし、その使い方を間違えるとトラブルに巻き込まれ、自分が傷ついたり反対に人を傷つけたりもするものです。7月17日(水)には、本校ICT支援員の笠松徹生さんから、「スマホの使い方教室」として全校でお話を聞きました。夏休みには、普段よりもネットに触れる機会が増えると思います。「一度ネットに出た情報は完全に消すことはできない。」という言葉をお忘れしないで欲しいと思います。

6月25日(火)には、南部警察署刑事生活安全課の望月貞さん、大芝光貴さん、スクールサポーターの小泉公司さんにお越しいただき、1・3年生が「身近に潜むネット社会の危険性」についてお話をいただきました。上記の自主学習の質の向上のために「一人一台端末の活用」もあげられていましたが、今や私たちの生活・学習の充実にはネット利活用が不可欠です。ネットからはたくさんの情報が得られるし、私たちの生活を便利にしたり、人との広い繋がりを可能にしてくれたりするものです。しかし、その使い方を間違えるとトラブルに巻き込まれ、自分が傷ついたり反対に人を傷つけたりもするものです。7月17日(水)には、本校ICT支援員の笠松徹生さんから、「スマホの使い方教室」として全校でお話を聞きました。夏休みには、普段よりもネットに触れる機会が増えると思います。「一度ネットに出た情報は完全に消すことはできない。」という言葉をお忘れしないで欲しいと思います。



3年間の集大成へ

1学期末を迎え、3年生の部活動も集大成の時期を迎えています。運動部の中には先日の地区総体等ですでに3年生が引退し、1・2年生の新チームがスタートした部もありますが、多くは7月25日(木)からの県総体が最後の公式戦となります。個人・部として目指すものは違いますが、過去の先輩方から伝統を引き継ぎ、情熱を傾けてきた各部活動の集大成として、納得できる終え方をしてもらいたいと思います。各部の吉報を待っています。吹奏楽部は7月21日(日)に県吹奏楽コンクールに挑み、素晴らしい演奏で銀賞を獲得しました。文化部の発表と共に輝桜祭が最後のステージになります。楽しみにしています。



部活動とは別に陸上競技に取り組んでいる3年・小林結さんは、6月30日(日)の中学校通信陸上競技大会の円盤投げ競技において、32m17の記録で優勝し、「県中学校女子新記録」ならびに「大会新記録」を打ち立てました。おめでとうございます。小林さんは今後、県の代表として関東中学校陸上競技大会にも挑む予定です。

通信陸上競技大会 女子円盤投	1位	3年	小林結 (32m17)	※県中学校女子新記録・大会新記録!
峡南地区ソフトテニス大会 男子ダブルス	準優勝	3年	依田晴貴・長田貫斗	ペア
山梨県吹奏楽コンクール中学生部門 B	銀賞		吹奏楽部	
山梨県総合体育大会柔道の部 90 kg級	第3位	2年	日吉虎千代	※関東大会出場!
インラインスケート選手権第4回静岡県大会中学生の部	総合5位	1年	熊谷悠月	